



「なぜ学ぶのか」小中学生へメッセージ

第 10 号で募集した「なぜ学ぶのか」について、3 名の方のご意見を紹介します。



■ “ぶちょーさん” から

“愉しく”人生を送るために、「学ぶ」のです！

■ 宮沢小学校の阿部玲子校長先生から

「生きる力」を身に付けるために「学ぶ」のだと思います。困難の多い社会を皆さんは生きていかなければなりません。困難にぶつかったとき、どう対応すればよいか。困難の多い社会を乗り切るために、自分たちで社会をつくり上げるにはどうすればよいか。人任せでなく、自らが暮らしをつくる力が大切になってくると考えます。そのためには、基礎基本の学びも大切にしながら、集団生活の中で、自分の夢や願い、思いの実現のためにどうしていけばよいかを体験しながら学びを繰り返していくことが「生きる力」を身につけることにつながっていくのではないのでしょうか。だから、やらされている学びではなく、夢や願い、思いをもってたくさんのことを経験し、失敗し、仲間から助けってもらいながら、挑戦し続けることのできる今を大切にしていってほしいです。

■ 尾花沢中学校の宗片史樹先生から

人生を豊かに生きるためだと思います。

例えば、新聞や雑誌に使われている単語は年間およそ 3 万語といわれています。でもその 50%～60%は、年間の使用数が 1 回。つまり、半分の単語は、新聞・雑誌で 1 年に 1 回しか使われないことになります。生活していくうえでは、3000 語あれば間に合います。でも、それだけでは、人生はつまらない。多くの言葉を知っていることで、同じ景色を見ても、人それぞれが違う豊かな感情が生み出されます。私たちの生活の中で、一生に 1 度しか使わないような単語が、ここというときに適切に使えるかどうか、そこが大事なのです。一生に 1 度も使わない言葉は必要ないのではなく、その 1 回のために言葉をたくわえておくことが大切なのです。知識や情報というものは、それが役に立つことだけを前提として学ばれるものではありません。一生使わない知識もあるかもしれない。しかし、一見ムダに思えるような知識を持っていることが、自分への自信となるのです。

いざというとき、たくさんの知識や情報をもっているかどうかは、自らへの信頼に直結し、大きな一歩を踏み出そうとするときに、背中を押してくれます。想定外の問題が起きたときに、自分が持っている知識、情報を総動員して、その局面にどう対処できるかを考えるためには、たくさんの役に立たない知識や情報を持っていることが大切です。

そうすると、豊かで深い人生を送ることができるのだと思います。



「なぜ学ぶのか」についてのご意見を引き続き募集します。下の URL または右の QR コードのリンク先にあるフォームに、必要事項を入力してください。

【回答リンク先】 <https://forms.gle/xjPdPYB6TtfpCAZR8>

「輝け！おばねっ子」に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330